

総合戦略における4つの基本目標	施策	KPI											検証内容	実施主体	
		指標 (総合戦略掲載頁)	策定時(平成27年度)		平成28年9月検証時		平成29年10月検証時		平成30年10月検証時			平成31年度			
			現状値	時点	現状値	時点	現状値	時点	現状値	時点	進捗状況	目標値			時点
1 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする	(ア)商工業の振興	市内の法人新規設立数(P25)	65件	26年度(年度計)	60件	27年度(年度計)	60件	28年度(年度計)	74件	29年度(年度計)	○	100件	31年度(年度計)	一旦減少した後は横ばいとなり、増加した。創業支援セミナーの実施回数を増加させたことによる増加と考える。今後、企業誘致推進事業、創業支援事業などにより更に効果を見込む。	産業振興課 税務課
	(イ)地場産業の振興	七宝焼アートヴィレッジでの七宝焼教室参加者数(P26)	6,935人	26年度(年度計)	5,995人	27年度(年度計)	7,737人	28年度(年度計)	8,221人	29年度(年度計)	◎	8,000人	31年度(年度計)	団体参加が多かったのが増加要因。PRの継続の効果と考える。今年度も増加する見込み。	七宝焼アートヴィレッジ
	(ウ)農業の振興	農業塾参加者による産地直売施設販売参加者数(P27)	3人	27年度(年度計)	3人	28年度(年度計)	0人	29年度(年度計)	0人	30年度(年度計)	△	15人	31年度(5年累計)	29年度の塾生は24人、内あま市民14人、内産直参加者は0人となった。高齢化により産直参加者全体の人数が減少している。	海部東農協同組合
2 地方への新しいひとの流れをつくる	(ア)シティプロモーションの推進	年間の転入者数(P29)	3,384人	26年度(年度計)	3,561人	27年度(年度計)	3,427人	28年度(年度計)	3,663人	29年度(年度計)	○	4,000人	31年度(年度計)	転入者数は景気動向に連動する傾向があり、特に外国人はその傾向が強い。また、名古屋市のベッドタウンとしての認知度向上による増加と考える。	市民課
		スポーツの国際大会や全国大会の会場または練習場の招致件数(P29)	0件	26年度(年度計)	0件	28年度(年度計)	0件	29年度(年度計)	1件	30年度(年度計)	○	3件	31年度(5年累計)	平成32(2020)年開催予定の全国中学校相撲大会会場の招致が決定しました。また、平成38(2026)年の愛知夏季アジア大会の練習会場等の招致を検討している。	スポーツ課
	(イ)観光の振興	七宝焼アートヴィレッジ来訪者数(P31)	109,100人	26年度(年度計)	112,407人	27年度(年度計)	116,847人	28年度(年度計)	117,029人	29年度(年度計)	○	130,000人	31年度(年度計)	年々増加している。市内外へのPRの継続の効果や各種イベント開催などによる増加とみている。	七宝焼アートヴィレッジ
		観光ボランティア数(P31)	0人	27年度(年度計)	方策検討中	28年度(年度計)	22人	29年度(9月現在)	22人	30年度(9月現在)	○	50人	31年度(5年累計)	「あまの神社仏閣へ行こうプロジェクトチーム」から21人が移行した。事務局からも1人参加。	観光協会 七宝焼アートヴィレッジ
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(ア)安心して子どもを産み育てられる環境づくり	あま市・大治町広域ファミリー・サポート・センター事業依頼会員数及び利用回数(あま市分)(P32)	411人 701回	26年度(年度計)	413人 625回	27年度(年度計)	413人 719回	28年度(年度計)	463人 1,338回	29年度(年度計)	◎	500人 850回	31年度(年度計)	会員数が増加し、それに伴い利用回数が大幅に増加している。また、会員同士の信頼関係が利用回数増につながっていると考える。	子育て支援課
		第三子保育料無料化対象児童数(P32)	114人	27年度(12月末)	116人	27年度(年度計)	112人	28年度(年度計)	96人	29年度(年度計)	△	130人	31年度(年度計)	3人以上の子供を持つ家庭が年々減少してきている。今年度9月1日現在92人、今年度は計95人くらいを見込んでいる。	子育て支援課
	(イ)学校教育体制の整備	子どもが学校生活を楽しんでいると思っている保護者の割合(P35)	85.0%	22年度(調査時)	93.0%	27年度(調査時)	93.0%	28年度(調査時)	91.0%	29年度(調査時)	○	95.0%	31年度(調査時)	現場の感覚では、近年と比較して子どもが落ち着いて生活している。	学校教育課
		学校生活を楽しんでいると思っている児童生徒の割合(P35)	85.0%	22年度(調査時)	88.0%	27年度(調査時)	89.0%	28年度(調査時)	87.8%	29年度(調査時)	○	95.0%	31年度(調査時)	現場の感覚では、近年と比較して子どもが落ち着いて生活している。	学校教育課
		不登校児率(P35)	3.8%	26年度(年度計)	1.8%	27年度(年度計)	1.9%	28年度(年度計)	2.1%	29年度(年度計)	○	2.0%未満	31年度(年度計)	不登校(30日以上)は、中学校で約5%と高い。(小学校は1%未満)。不登校の児童生徒に対しては、教育相談センターで個別指導や相談等を実施している。	学校教育課
4 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守る	(ア)安全・安心なまちづくり	消防団員の充足率(P37)	96.0%	27年度(4月1日)	93.0%	28年度(4月1日)	93.0%	29年度(4月1日)	94.0%	30年度(4月1日)	△	100%	31年度(4月1日)	各分団に団員確保をお願いしているが、担い手不足により100%に達していない。成人式で消防団の案内資料を配布するなど若い方の消防団員の確保に努めている。	安全安心課
		市内犯罪発生件数(刑法犯)(P37)	996件	26年(年計)	1,009件	27年(年計)	833件	28年(年計)	765件	29年(年計)	◎	800件以下	31年(年計)	市民の防犯意識向上や警察との連携により、件数は減少している。平成28年度から平成29年度を比較すると愛知県全体で5,000件減少している。	安全安心課
	(イ)市民の生きがいと活力を高めるまちづくり	シルバーカレッジ入学希望者割合(定員に対して)(P39)	—	—	260% (117名/45名)	28年度(入学時)	164% (74名/45名)	29年度(入学時)	86.7% (39名/45名)	30年度(入学時)	△	100%	31年度(入学時)	平成29年度より減少し、定員に達する応募がなかった。カリキュラムの見直し等が必要。	生涯学習課
		健康マイレージ参加人数(P39)	385人(累計) 385人	26年度	628人(累計) 1,013人	27年度	975人(累計) 1,988人	28年度	1,008人(累計) 2,996人	29年度	◎	2,000人	31年度(5年累計)	平成28年度から小中学校コース新設。市独自の景品採用や応募可能ポイントを他自治体より低く設定したことにより、参加者数が他自治体と比べ多い。	健康推進課
	(ウ)都市基盤の整備	区画整理事業等による転入者数(P40)	—	—	—	—	—	—	50人(概算)	30年度(9/6現在)	○	600人	31年度(5年累計)	概ね土地区画整理事業計画書のとおり進捗している。秋竹地区で20軒、66人が転入・転居した。今後木田地区でも事業が進み、転入者は増加する予定。	都市計画課
	(エ)鉄道利用の促進	鉄道利用者数(基目寺駅、七宝駅、木田駅の一日平均利用者計)(P41)	20,710人	25年度(年度計) (26年度不明)	21,379人	27年度(年度計)	21,909人	28年度(年度計)	22,470人	29年度(年度計)	○	23,000人	31年度(年度計)	3駅とも対前年度増、今後も鉄道会社と共催でイベントを開催するなど、市内外の利用者を増やしたい考え。	観光協会 七宝焼アートヴィレッジ
	(オ)郷土に誇りと愛着が持てる、魅力あるまちづくり	「あまつり」来場者数(P42)	13,000人	27年度(8月15日)	16,000人	28年度(8月20日)	17,000人	29年度(8月19日)	17,500人	30年度(8月18日)	◎	15,000人	31年度(開催日)	前年度より500人増。毎年開催する市民まつりとして定着してきた。今年度は愛知県出身のアーティストが出演した。	企画政策課
市民活動センター「あまテラス」登録団体数(P42)		106団体	27年(10月1日)	121団体	28年(9月1日)	131団体	29年(9月1日)	135団体	30年(9月1日)	○	150団体	31年度(年度末)	26年10月設立以降、認知度向上や趣向を凝らした事業の効果により、会員数、来館者数ともに増加している。	企画政策課	

合計 ◎ 5つ  
○ 12つ  
△ 4つ

◎：目標値を達成しているもの  
○：目標値を達成していないが、策定時の現状値より効果が上昇しているもの  
△：策定時の現状値より効果が下降しているもの